

～ 山内果樹園のファンを増やしたい ～  
山内 茂弘さん（西条市（旧丹原町））

農業指導士 1960年生まれ



☆経営概況☆

妻と母とともに、せとかを中心とした施設柑橘 55 a、太秋を中心とした柿 45 a、その他露地柑橘・野菜 28 a を栽培しています。

また、現在、農業指導士として、地域の担い手育成を支援しています。

☆ここがポイント☆

■消費者に喜ばれる果実作りを

糖度の高い、**消費者に喜ばれるおいしい果実を生産**するため、土づくりの徹底や園地ごとのきめ細かな水管理、定期的な果実分析、初期防除による農薬散布回数の低減などに努めています。

■消費者に直接売る販売を展開

せとか、はれひめ、甘平、太秋といった主要品目のほとんどを消費者からの注文販売となっており、**北海道から九州まで全国に顧客**を確保しています。



お客さんに送る出荷箱



お客さんに送る出荷箱

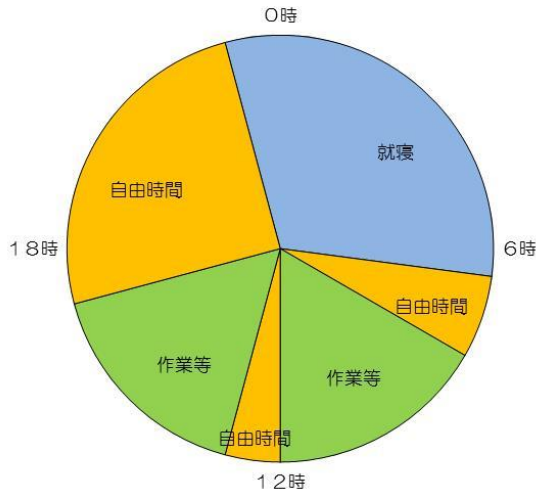


土壌管理



摘果作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

施設栽培が中心なため、雨に関係なく、年中作業しています。2～3月が一番忙しい時期ですが、それが一段落すると、毎年、**家族で旅行を実施**しており、それが楽しみとなっています。

また、**地域の皆さんと週2日程度、ソフトバレー**を行っており、忙しい仕事の合間のいいリフレッシュとなっています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】						
常に何らかの作業（剪定・摘果・収穫・荷造り）をしています						
【普通期】						
栽培管理（灌水・防除など）						（休みは不定期です） 休日



旅行先にて

☆これからの夢や目指すもの☆

■新しいファンの獲得を

「**山内果樹園**の果実は非常においしい。山内果樹園で是非買いたい。」という**ファン**をこれからも常に増やしていきたいと考えています。

また、松山で柑橘の営農指導員として頑張っている息子が、家族経営にも興味を示しており、将来、農業を継いでもらえることを願っています。

☆メッセージ☆

■直接販売で収入もやりがいもUP

直接販売は、しんどい面もありますが、消費者からの生の声を聞くことができ、収入もやりがいも増えることが可能です。